

## 研究業績

(2013年1月～12月)

### 麻酔学講座

#### ◆著書

- 1) 河野太郎：気道管理手技. 救急救命スタッフのための ITLS, 第2版, pp91-112, メディカ出版, 大阪, 2013.
- 2) 河野太郎：多数傷病者事故とトリアージ. 救急救命スタッフのための ITLS, 第2版, pp422-430, メディカ出版, 大阪, 2013.
- 3) 恒吉勇男：ノルアドレナリン. For Professional Anesthesiologists 心血管作動薬, pp133-142, 克誠堂出版, 東京, 2013.
- 4) 恒吉勇男：バソプレシン. For Professional Anesthesiologists 心血管作動薬, pp229-239, 克誠堂出版, 東京, 2013.

#### ◆原著

- 1) Ryuji Tamura, Isao Tsuneyoshi: Evaluation the role of serum 1,5-anhydroglucon concentrations as an indicator of hyperglycemic changes in diabetic and non diabetic surgical patients. *Anesthesia and clinical research* 4(3), 2013.
- 2) Takayuki Nemoto, Fumiyo Toyoshima-Aoyama, Yuto Ueda, Takayoshi Ohba, Toshihiko Yanagita, Hiroyuki Watanabe, Tetsuro Shirasaka, Isao Tsuneyoshi, Yasuhi Ishida, Kazuyoshi Hirota, Akira Sawaguchi, Manabu Murakami: Involvement of the Orexin System in Adrenal Sympathetic Regulation. *Pharmacology* 91: 250-258, 2013.
- 3) Toyoaki Maruta, Go Otao, Takeshi Miyazato, Nozomi Maruta, Koichiro Yamauchi, Takao Yano, Taro Kawano, Isao Tsuneyoshi: Effects of intravenous low-dose recombinant human atrial natriuretic peptide on renal function in the perioperative management for gastrointestinal perforation or ileus: A retrospective single-center study. *Journal of critical care* 28: 133-140, 2013.
- 4) Takayuki Nemoto, Toshihiko Yanagita, Toyoaki Maruta, Chihiro Sugita, Shinya Satoh, Tasuku Kanai, Akihiko Wada, Manabu Murakami: Endothelin-1-induced down-regulation of Nav1.7 expression in adrenal chromaffin cells: attenuation of catecholamine secretion and tau dephosphorylation. *FEBS Letters* 587: 898-905, 2013.
- 5) Tetsuro Shirasaka, Takeshi Yano, Takato Kunitake, Isao Tsuneyoshi: High-dose remifentanyl increases blood pressure and heart rate mediated by sympatho-activation in conscious rats. *Journal of anesthesia* 27: 325-332, 2013.

- 6) Takeshi Yano, Shoichiro Ibusuki, Mayumi Takasaki, Isao Tsuneyoshi: Dimethylsulfoxide potentiates the nerve conduction-blocking effect of lidocaine without augmentation of the intracellular lidocaine concentration in the giant axon of crayfish in vitro. *Fundamental and Clinical Pharmacology* 27: 402-8, 2013.
- 7) 與那覇 哲, 田村隆二, 丸田豊明, 矢野武志, 松岡博史, 押川満雄, 谷口正彦, 恒吉勇男: ダイナミックスケールは術後早期の血糖コントロールに有用である. *日本集中治療医学会雑誌* 20: 91-92, 2013.
- 8) 矢野隆郎, 山内弘一郎, 河野太郎, 猪山佑治, 山下享芳, 竹智義臣: 院外心肺停止例における死亡後全身CT検査の有用性. *日本救急医学会雑誌* 24: 916-924, 2013.

#### ◆ 症例報告

- 1) 矢野武志, 與那覇 哲, 田村隆二, 丸田豊明, 松岡博史, 押川満雄, 谷口正彦, 恒吉勇男: 血球貪食症候群に合併したDICにトロンボモデュリンアルファを投与した1症例—血漿中プラスミノーゲンアクチベーターインヒビターの波長から—.*ICUとCCU* 37: 75-79, 2013.
- 2) 矢野武志, 長濱真澄, 與那覇 哲, 田村隆二, 矢野都子, 松岡博史, 押川満雄, 谷口正彦, 恒吉勇男: 抜管後の低酸素血症にネーザルハイフローシステムOptiflowを使用した1症例. *麻酔* 62: 939-941, 2013.
- 3) 河野文彰, 仙波速見, 水野隆之, 中尾大伸, 池ノ上 実, 長濱博幸, 清水哲哉, 恒吉勇男, 中村都英: 術中反回神経モニタリング 甲状腺癌再々発症例に対する使用経験. *宮崎県医師会医学雑誌* 37: 130-135, 2013.
- 4) 長濱真澄, 矢野武志, 與那覇 哲, 田村隆二, 松岡博史, 押川満雄, 谷口正彦, 恒吉勇男: 重症レプトスピラ症に集学的治療を用いて救命した1症例. *ICUとCCU* 37: 713-717, 2013.

#### ◆ 総説

- 1) 新福玄二, 恒吉勇男: 腹臥位における呼吸機能の変化 鏡視下手術時のその変化と問題点(解説). *臨床麻酔* 37: 409-417, 2013.
- 2) 矢野武志: 人工呼吸器関連肺炎のリスクと予防 看護研究への示唆. *看護研究* 46: 442-453, 2013.

#### ◆ その他

- 1) 近藤裕子, 鈴木孝浩, 柏田政利, 恒吉勇男: 修正型電気痙攣療法(mECT)の筋弛緩について(Q&A). *臨床麻酔* 37: 687-689, 2013.

◆ 学会発表

- 1) Toyoaki Maruta, Tian Li, Jeremiah Morrissey, Jane Blood, Elizabeth Macy, Richard Bach, Reid Townsend, Walter Boyle: Urinary cardiac troponin idetectabl in patients with acute myocaridial injury using high-sensitive immunoassay. 42<sup>nd</sup> Critical Care Congress, 2013, 1, San Juan, Puerto Rico.
- 2) Toyoaki Maruta, Tian Li, Jeremiah Morrissey, Jane Blood, Elizabeth Macy, Richard Bach, Reid Townsend, Walter Boyle: Earlier detection of acute myocardial injury using a high-sensitivity cardiac troponin iimmunoassay. 42<sup>nd</sup> Critical Care Congress, 2013, 1, San Juan, Puerto Rico.
- 3) Jeremiah Morrissey, Toyoaki Maruta, Tian Li, Jane Blood, Elizabeth Macy, Richard Bach, Reid Townsend, Walter Boyle: Rapid increase in proteinuria folloeing acute myocardial injury: acute cardiorenal syndrome?. 42<sup>nd</sup> Critical Care Congress, 2013, 1, San Juan, Puerto Rico.
- 4) 門田瑤子, 江川久子, 恒吉勇男: 腹腔鏡下幽門側胃切除における周術期に低体温を来し麻酔管理に難渋した高齢者の症例. 第 25 回日本老年麻酔学会, 2013, 2, 函館.
- 5) 涌水涼子, 山下幸貴, 恒吉勇男: 麻酔覚醒後に横隔膜麻痺が原因と思われる呼吸困難をきたした 1 症例. 第 25 回日本老年麻酔学会, 2013, 2, 函館.
- 6) 西村絵実, 田中信彦, 渡部由美, 恒吉勇男: ステロイドパルス療法が奏功した帯状疱疹による運動神経麻痺の 1 症例. 第 31 回九州ペインクリニック学会, 2013, 2, 福岡.
- 7) 谷口正彦, 與那覇 哲, 長濱真澄, 越田智広, 矢野武志, 新福玄二, 松岡博史, 押川満雄, 恒吉勇男: 救命センターの新設とドクターヘリの稼働が既存の ICU 運営に与えた影響. 第 40 回日本集中治療医学会学術集会, 2013, 2, 松本.
- 8) 與那覇 哲, 宮里岳志, 長濱真澄, 越田智広, 長野健彦, 田村隆二, 矢野武志, 押川満雄, 谷口正彦, 恒吉勇男: バルビツレート投与による burst suppression の維持に BIS を使用した難治性痙攣の一症例. 第 40 回日本集中治療医学会学術集会, 2013, 2, 松本.
- 9) 白阪哲朗, 宮里岳志, 越田智広, 田村隆二, 矢野武志, 恒吉勇男: 新規鎮静・催眠化合物 JM-1232(-) の循環および腎交感神経活動に及ぼす影響. 第 40 回日本集中治療医学会学術集会, 2013, 2, 松本.
- 10) 矢野武志, 宮里岳志, 長濱真澄, 越田智広, 長野健彦, 與那覇 哲, 押川満雄, 谷口正彦, 白阪哲朗, 恒吉勇男: 人工呼吸中の小児の気管チューブ固定にアンカーファストを使用した経験. 第 40 回日本集中治療医学会学術集会, 2013, 2, 松本.
- 11) 押川満雄, 穴井博文, 遠藤譲治, 前田裕之, 大森正芳, 荒木賢二: JMS ミクスフローポンプの長期使用を目指した血液適合性の改善. 第 23 回日本経皮的心肺補助 (PCPS) 研究会, 2013, 3, 松本.
- 12) 太田尾 剛: 脳外科手術における重炭酸リンゲル液投与の影響について. 第 3 回宮崎周術期管理セミナー, 2013, 3, 宮崎.
- 13) 谷口正彦: 新しい DIC 治療薬リコモジュリンをどう使いこなすか. 第 178 回宮崎県泌尿器科医会,

- 2013, 3, 宮崎.
- 14) 谷口正彦：SSCG 2012 と日本版敗血症診療ガイドラインのポイント．敗血症治療講演会，2013, 4, 宮崎.
  - 15) 田中信彦：当院ペインクリニックにおけるトラムセット配合錠の使用状況．宮崎痛みと薬物療法セミナー，2013, 5, 宮崎.
  - 16) 山下幸貴，涌水涼子，恒吉勇男：周術期における年齢依存的 D-dimer カットオフ値についての検討（ポスターディスカッション）．日本麻酔科学会第 60 回学術集会，2013, 5, 札幌.
  - 17) 田村隆二，日高康太郎，深尾麻由，門田瑤子，田村真由子，恒吉勇男：1,5-アンヒドログルシトールによる周術期の血糖評価の有用性についての検討．日本麻酔科学会第 60 回学術集会，2013, 5, 札幌.
  - 18) 新福玄二，指宿昌一郎，恒吉勇男：新しいタイムアウト導入が手術チームスタッフの意識と手術時間に与える影響．日本麻酔科学会第 60 回学術集会，2013, 5, 札幌.
  - 19) 山賀昌治：麻酔の基礎知識・術中術後観察について．平成 25 年度日本手術看護学会九州地区宮崎分会総会・研修会，2013, 5, 宮崎.
  - 20) 白阪哲朗，門田瑤子，内村修二，太田尾 剛，川崎祐子，小田信子，恒吉勇男：レミフェンタニルの循環作用における自律神経活動の関与．第 34 回日本循環制御医学会総会，2013, 6, 福井.
  - 21) 田中信彦：ペインクリニック領域における痛み治療について～最近の話題～．（特別講演）第 9 回宮崎緩和ケア研究会，2013, 7, 宮崎.
  - 22) 押川満雄，須江宣俊，宮里岳志，長濱真澄，越田智広，與那覇 哲，丸田豊明，矢野武志，谷口正彦，新福玄二，松岡博史，白阪哲朗，長田直人，恒吉勇男：呼吸管理に難渋した脳外科手術後に呼吸窮迫症候群となった小児症例．第 23 回日本集中治療医学会九州地方会，2013, 7, 宮崎.
  - 23) 須江宣俊，矢野武志，宮里岳志，長濱真澄，越田智広，與那覇 哲，押川満雄，谷口正彦，恒吉勇男：トロンボモジュリンアルファ投与および持続血液濾過透析療法が奏功した重症レジオネラ肺炎の一症例．第 23 回日本集中治療医学会九州地方会，2013, 7, 宮崎.
  - 24) 田中信彦：がん性痛の治療—基本からペインクリニック的アプローチまで—．第 180 回宮崎県泌尿器科医学会学術講演会，2013, 7, 宮崎.
  - 25) 有村慶一，谷口正彦，須江宣俊，長濱真澄，越田智広，與那覇 哲，矢野武志，押川満雄，恒吉勇男，迫田隅男：ICU 患者の口腔内トラブルに対する歯科医介入の現状．第 42 回宮崎救急医学会，2013, 8, 宮崎.
  - 26) 恒吉勇男：筋収縮の基本原則から筋弛緩を考える．（特別講演）佐賀麻酔セミナー，2013, 8, 佐賀.
  - 27) 長嶺佳弘，新福玄二，黒木俊介，太田尾 剛，指宿昌一郎，恒吉勇男：胎児水腫に対する経皮的胎児輸血の麻酔経験（優秀演題）．九州麻酔科学会第 51 回大会，2013, 9, 熊本.
  - 28) 田村真由子，長濱真澄，川崎祐子，田村隆二，山賀昌治，恒吉勇男：糖尿病性心筋症が疑われた低心機能患者の麻酔経験．九州麻酔科学会第 51 回大会，2013, 9, 熊本.
  - 29) 黒木俊介，石山健次郎，長嶺佳弘，河野太郎，指宿昌一郎，恒吉勇男：術中に心タンポナーデを

- きたし PEA を発症した胸腺切除の一例. 九州麻酔科学会第 51 回大会, 2013, 9, 熊本.
- 30) 山田尚子, 門田瑤子, 山賀昌治, 指宿昌一郎, 白阪哲朗, 恒吉勇男: 外傷後早期に静脈血栓塞栓症を発症し重篤な肺塞栓症を来した一例. 九州麻酔科学会第 51 回大会, 2013, 9, 熊本.
- 31) 川崎祐子, 指宿昌一郎, 田村真由子, 増田いしえ, 恒吉勇男: 凍結融解胚移植後双胎妊娠に対する帝王切開で術中弛緩出血を生じ子宮摘出を行った一症例. 九州麻酔科学会第 51 回大会, 2013, 9, 熊本.
- 32) Mitsuo Oshikawa, Hirofumi Anai, George J Endo, Hiroyuki Maeda, Masayoshi Omori, Kenji Araki: In vivo Evaluation of hemocompatibility of the JMS Mixflow centrifugal blood pump for long-term use. 21<sup>st</sup> Congress of the International Society for Rotary Blood Pump, 2013, 9, 横浜.
- 33) Mitsuo Oshikawa, Hirofumi Anai, George J Endo, Hiroyuki Maeda, Masayoshi Omori, Kenji Araki: Improvement of hemocompatibility for the JMS Mixflow centrifugal blood pump. 5<sup>th</sup> Congress of the International Federation for Artificial Organs, 2013, 9, 横浜.
- 34) 門田瑤子, 石山健次郎, 森 信一郎, 國武 歩, 恒吉勇男: ヘパリン起因性血小板減少症患者における人工心肺下心臓手術の麻酔経験. 日本心臓血管麻酔学会第 18 回学術大会, 2013, 9, 福岡.
- 35) 恒吉勇男: 肺血症性ショックにおける生体内ホルモン補充療法について (特別講演). 第 18 回中四国 ECT 研究会, 2013, 10, 岡山.
- 36) 新福玄二, 與那覇 哲, 丸田豊明, 矢野武志, 松岡博史, 河野太郎, 恒吉勇男: 頸部損傷・開口障害モデルに対するビデオ硬性挿管用喉頭鏡の有用性. 第 41 回日本救急医学会総会・学術集会, 2013, 10, 東京.
- 37) 谷口正彦: Septic DIC の治療—日本の DIC 治療薬は東洋の秘薬から抜けだせるか? (シンポジウム: 敗血症患者の周術期管理). 日本臨床麻酔学会第 33 回大会学術集会, 2013, 11, 金沢.
- 38) 矢野武志, 須江宣俊, 越田智広, 與那覇 哲, 谷口正彦, 恒吉勇男: 気管軟化症の低酸素発作に対してロクロニウム持続投与が有効であった 1 症例. 日本臨床麻酔学会第 33 回大会学術集会, 2013, 11, 金沢.
- 39) 太田尾 剛, 柏田政利, 指宿昌一郎, 恒吉勇男: 麻酔始業前点検で見えなかった気化器のトラブル. 日本臨床麻酔学会第 33 回大会学術集会, 2013, 11, 金沢.
- 40) 田中信彦: 緩和医療 鎮痛薬の使用法と注意点. 宮崎大学がんセミナー, 2012, 11, 宮崎.
- 41) 中村小夜子, 新福玄二, 指宿昌一郎, 綾部貴典, 横山悦子, 恒吉勇男, 瀬戸山 充: A 病院における手術安全チェックリスト導入後の認識の変化. 第 8 回医療の質・安全学会学術集会, 2013, 11, 東京.